

上昇気流をつかまえて

—— 時代の期待に応える ——

新年は新たな決意がよく似合います。そして期待と希望あふれるスタートでもあります。

環境への関心が一層高まり、また真の癒しが求められる現在、まさに豊かな自然と歴史・文化に恵まれたふるさと和歌山県に大きな期待が寄せられています。

本県が提唱し、現在では国の施策として実践されている「緑の雇用事業」では、たくさんの方々が新しい生活を求めて県内各地に I ターン・定住し、このことがきっかけとなって地域の活性化につながっている事例も数多く見られます。また、IT ビジネスモデル地区にも指定された田辺・白浜地域では、遊休保養所を利用した企業誘致＝IHS 構想を進めた結果、IT 関連企業が相次いで進出してきています。さらに待望の高野・熊野の世界遺産登録が今年の夏に実現されようとしています。国内外で、和歌山県の存在感がいよいよ大きくなると同時に、時代がほんまものの和歌山県を求めていると言っても過言ではありません。

長引く不況で苦しい経済情勢ではありますが、私は本県の持つ独自性を“わかやまブランド”に、そして地方の個性を1.5車線道路など全国に先駆けた“わかやまモデル”へとより高める施策展開を行ってまいります。さらに、地方の自立・再生のための三位一体改革、防災を見据えた「命の道」である高速道路の延伸等、府県や国という垣根を越え理解と協力を求める提言活動を行いながら、県民の皆さんとともに和歌山県の発展に努めてまいりたいと考えています。

これからの新しい時代、未来志向で一緒にがんばっていきましょう。

和歌山県知事 木村良樹



他県知事らとともに地方からの変革を訴える



緑の雇用事業



IHS 構想



近畿自動車道紀勢線



世界遺産登録をめざす高野・熊野

年頭のごあいさつ



新年あけましておめでとうござい
ます。

県民の皆様には、2004年の新春
を清々しくお迎えのことと心からお慶
び申し上げます。

さて、昨年末には、待望の近畿自動
車道紀勢線(御坊―南部間)が開通い
たしました。この道は、本県の観光、
農林水産業の更なる振興や、地震対策
等の防災道、地域の自立の道として、
また、本年6月の世界遺産登録に向け
ても大いに期待されるものであります。

今日の厳しい社会情勢の下、これか
らは、地方主導の時代であり、県民と
の協働による個性ある県政の推進が求
められます。本県におきましても、新
ふるさとづくりや新産業創出、雇用拡
大を目指して様々な施策を展開してお
り、「交流と自立による地域の活性化」
をとりわけ重要な課題として取り組ん
でおります。

県議会におきましても、諸事業の推
進に併せ、きざりと輝く政策を提言し、
魅力あるふるさと創りに気概を燃やす
決意でございます。

どうか、県議会に対する一層のご支
援とご協力をお願いいたしますととも
に、県民の皆様のご多幸をお祈り申し
上げ、新年のご挨拶といたします。

和歌山県議会議長 尾崎 要二

産学官が力を合わせ、 新技術・新産業の創出めざす

科学技術の進歩は、国や地域、そして人々の暮らしの
発展・向上に大きく貢献してきました。
今、和歌山で、新しい技術・新しい産業を創り出そう
という様々な研究事業が動き出しています。

科学技術元年!

バイオとITで第一次産業発の新しい価値を生みだす

独立行政法人 科学技術振興機構が所管する「地域結集型共同研究
事業」の平成15年度着手分として、和歌山県からの提案が認められ
ました。同機構から5年間で12億5千万円の研究費が出される予定
で、近畿大学生物理工学部、和歌山大学システム工学部、県農林水
産総合技術センターを核に、県内外の産学官20以上もの研究機関が
参加しての一大研究プロジェクトが、1月からスタートします。

期待される具体的成果例

- 地球温暖化など環境の変化に耐え、かつ安価に生産できるウメ・カキ
- 高温で栄養分に乏しい海でも育つ大型コンブ(カジメ、クロメ)
- 奇形のが混じらないマダイ養殖
- 品質の良い真珠を産出するアコヤガイ
- 魚骨等からの抽出生成物と真珠タンパク質を組み合わせた人工歯根
- 医薬品成分を乳中に出すことができる牛



細胞レベルでの実験写真



抱負を語る

研究統括 入谷 明さん

(近畿大学先端技術総合研究所長・生物理工学部教授)

一次産業は日本にとっても、和歌山県にとっても
大切です。和歌山は、ウメ、カキ、モモなど果樹生
産の全国シェアが高く、また、きれいな川があり海
があり水産業もさかんです。そうした幅広い条件の
そろった和歌山で、一次産業を対象に、従来のバイ
オテクノロジー(生物工学)単独ではなく、それにIT(情報工学)をプラスした
技術開発を進めることは、非常に効果的だと思っています。最新の機器も導入
しながら参加研究機関がいっしょになって頑張れば、必ず良い成果が出て、新
産業の創出など県産業全般の発展に役立つものと確信しています。

次世代ナノテクノロジー※1有機材料開発エリアを形成

文部科学省所管「都市エリア産学官連携促
進事業」の平成15年度着手分に採択され、8
月から研究を始めています。3年間で約3億円
の補助金が交付され、県工業技術センターを
中心に、和歌山大学や有機化学企業など合計
11の機関が連携して研究を進めます。



期待される具体的成果例

- 医療機関等の検査で、病気を引き起こす物質を高感度に検出できる薄膜
- 次世代ディスプレイ※2と目されている有機EL※3ディスプレイ用の高輝度・長寿命の発光材料
- 半導体※4の製造に不可欠な高機能材料

※1 ナノテクノロジー 物質の特性を決定する構造(結晶の大きさ、膜の厚さ、粒子の直径など)
がナノメートル(nm; 1メートルの10億分の1)レベルの大きさをもった物質を作り出した
り、それらを組み合わせて、コンピュータや通信装置、微小機械などを作る技術

※2 ディスプレイ ここでは、デジタルカメラやコンピュータの情報などを表示する画面装置

※3 EL エレクトロ・ルミネッセンスの略。電圧を加えると蛍光を発する物質を利用した素子

※4 半導体 金属ほどではないが少し電気を通すもの。ダイオード、トランジスタ、集積回路
などに利用

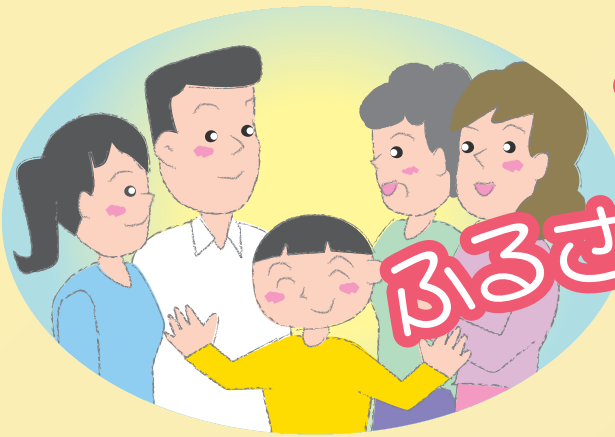
県立研究機関の研究に競争原理を導入

県では、県立の各研究機関において重点的
に行うべき研究を一層進めるため、今年度から毎
年1億5千万円程度の基金を積み立てて、それ
を財源とする研究費を外部の有識者による審査
で評価された研究に充てる制度をつくりました。
平成15年度は36件の申請があり、そのうち8
件を採択して10月から研究に着手しています。



主な採択テーマ

- 微生物酵素を利用する新しいウメ加工技術の開発
- 廃木材を原料とする木材用接着剤、防腐防虫剤の開発
- 高収量・高品質なエンドウ生産技術の開発
- 衛星画像による漁場探索技術の開発

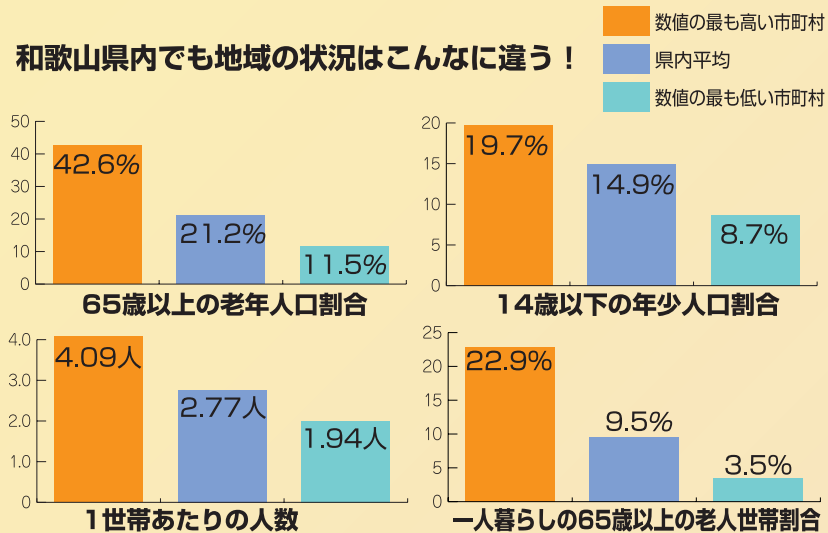


支え合いの ふるさとづくりを めざして

～地域福祉の主役は県民の皆さんです～

地域のニーズにあった地域福祉が 今求められています

和歌山県内でも地域の状況はこんなに違う！



ほんの一例ですが、県内だけでも地域の状況はこんなに違ってきます。

各地域で求められる福祉サービスも全く違うことから、住民の方や福祉関係者の意見を反映しながら、市町村ごとに地域福祉計画を策定することになっています。

また、都道府県が定める地域福祉支援計画は、こうした地域福祉計画を応援する内容となります。

社会福祉協議会のことを知っていますか？

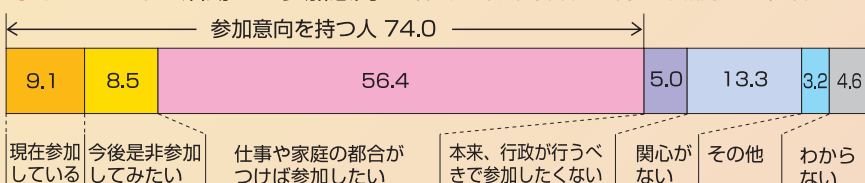
地域での自主的な福祉活動の中心拠点で、各市町村に設置されています。住民の皆さんをはじめ、社会福祉・保健・医療・教育などの関係者の参加・協力によって、安心して暮らせる福祉のまちづくりの実現を目指した活動を行っている団体です。

●市町村社会福祉協議会で登録・把握しているボランティア数（県計）

（平成15年5月1日現在：県ボランティアセンターによる）

グループ		個人	計（延べ人数）
1,295団体	114,487人	3,771人	118,258人

●ボランティア活動への参加意向（平成13年度和歌山県政に関する世論調査から）単位：%



福祉ボランティア活動に興味をお持ちの方、また、身近なことで悩んでいる方など、社会福祉協議会へ気軽にご相談ください。

問い合わせ 各市町村社会福祉協議会 県社会福祉協議会 ☎073-435-5222

現在、少子・高齢化や核家族化が進行し、一方では昔ながらの地域でのふれあいやつながりを持つ機会が少なくなっています。そうした状況の中で、私たちが生活する身近な地域を見回してみると、一人暮らしの高齢者や障害のある方、子育て中のお母さんなど、何らかの支えを必要としている方が少なくありません。

「地域福祉」は、そのような援助を必要とする方やその家族を含め、地域での生活を営む誰もが自立し、安心して充実した生活を送れるよう、住民・行政・社会福祉関係者とが協働して、「共に生き支え合う社会づくり」を実現させることであり、その主役は県民の皆さんです。

問い合わせ 県庁福祉保健総務課 ☎073-441-2472

会員制で日常生活を助け合い

田辺市「もつび友愛ヘルプの会」

入院時の食事介助や、在宅時の掃除・洗濯など日常生活の助け合い活動を田辺市内で行うボランティアの会です。サービスを提供する側も受ける側も共に会員になって、安価な利用料金で運営されています。



に入りました。利用する方に喜んでもらうとうれしいですね」と話してくれました。

会長の浦田和子さんは「介護福祉サービスや障害者支援費制度など公的福祉サービスが充実してきています。でも、あと1時間余計にサービスを受けたいとか、公的サービスを受ける認定が得られるまでの間にサービスを受けたいといった制度の隙間で困っている方は意外と多いんです。それには、まずは身内の方の助けが一番ですが、それでも補いきれない部分をかばいさせてもらっています。また、私たちがみたいな活動を希望する方があれば、喜んでアドバイスさせてもらおうし、ネットワークを結んで情報交換をしていきたいと思っています。」と熱心に話しました。

「ベビーカー・グー」で 0歳児母子デイサービスを提供

愛ラップいわで

岩出町は新興住宅地で相談相手が身近になく、子育てに疲れたり不安を抱えたりしているお母さんが多いという状況です。在宅福祉ボランティアを行うこの会では、母子支援活動も月1回実施しています。昼食を食べ、お母さん同士やこの



この会に参加したお母さんたちに感想を伺うと、「日頃外出の機会が少ないので私にとって気晴らしになっています」「初めての参加でちょっと不安でしたが、同じようなお母さんと話してリラックスしています。子育ての悩みなども話しながら楽しく過ごしています」など明るい笑顔で語ってくれました。

また、会長の馬場須美子さんは「困ったときはお互い様ということで活動しています。お母さん方は1年でこのサークルを卒業していきませんが、そのあとは自主的に困っている方の支えになる活動に参加してくれるといいなと思っています」と話しました。

国や県の認証・承認制度

加工食品

HACCP

HACCP*とは、最終製品の抜き取り検査による従来型の衛生管理の方法ではなく、まず、原材料の調達から製造、出荷までの各過程の中で、食中毒菌など人の健康を害する要因の発生を防止するために重要な箇所を見つけ出し、そこを重点的に監視・記録することで、一層の安全性を確保する衛生管理の方法です。

国では、HACCPを導入した食品製造について、「総合衛生管理製造過程」という名称の認証制度が設けられています。

※HACCP Hazard(危害) Analysis(分析) Critical(特に重要な) Control(管理) Points(点)の略で、危害分析重要管理点方式と訳されています。

日々HACCPの精神で仕事をしています

和歌山ノーキョー食品工業株式会社



清涼飲料水のメーカーである同社は、平成15年9月、海南工場の2つの製造工程でHACCPの認定を受けました。工場長の大隅康司さんは、「ここでは年間1,500万箱の清涼飲料水を製造しています。『無殺菌・無除菌』で製造する工程では、炭酸ガスを注入する際の「製品温度とガス圧」を重点的に管理しています。もう一つの「密栓・密封後殺菌」する工程では、殺菌するための温水シャワーの「温度と時間」です。また、原料の水は、1ミクロン以下のフィルターを導入して、さらに衛生的なものを使っています。」と説明してくれました。HACCPの承認を受けるために一番苦労したことを尋ねると、「280人の従業員にHACCPの考え方を浸透させるための内部研修は大変でした。それを乗り越えて、全従業員が製品の衛生管理の面でも自信を持てたことが一番の成果だと思っています。」

造する工程では、炭酸ガスを注入する際の「製品温度とガス圧」を重点的に管理しています。もう一つの「密栓・密封後殺菌」する工程では、殺菌するための温水シャワーの「温度と時間」です。また、原料の水は、1ミクロン以下のフィルターを導入して、さらに衛生的なものを使っています。」と説明してくれました。HACCPの承認を受けるために一番苦労したことを尋ねると、「280人の従業員にHACCPの考え方を浸透させるための内部研修は大変でした。それを乗り越えて、全従業員が製品の衛生管理の面でも自信を持てたことが一番の成果だと思っています。」

農作物



和歌山県特別栽培農産物

化学合成農薬と化学肥料の使用を通常栽培の半分以下に抑えるなど、県が定めた基準に適合した農産物を認証しています。平成15年11月末現在、県内で205件の特別栽培農産物が認証を受けています。



有機農産物

3年以上の間、化学合成農薬と化学肥料を使用せず、たい肥等で土づくりを行った農園で栽培するなど、国の基準に合格した農産物をいい、「有機JASマーク」が付けられます。このマークがないと、「有機」や「オーガニック」の表示はできません。

※たい肥
草、わら、家畜排泄物などを積んで発酵させた肥料

環境にやさしい方法でミニトマト栽培 グリーン日高農業協同組合

グリーン日高農協では、平成15年3月、ミニトマトの栽培で52人の組合員がエコファーマーの認証を受けました。「この辺では、以前からたい肥やぼかし*を使いながら栽培してきましたが、認証を受けて良かったと思うのは、改めて自分たちはエコ農業をやっているんだという意識を持てたことです。」と同農協営農指導課の岡本朗さん(写真奥)。「有機肥料のほか、農薬の代わりに害虫の繁殖を抑える黄色いテープを使ったり、トマトの実をつけるための交配も、ホルモン剤によるのではなくハチのちからを借りているんですよ。」

組合員の稲葉伸一さん(写真手前)は、「減農薬で栽培するのは、やはり大変です。でも、消費者の食の安全に対する関心・要求が高くなってきているので、そのうちエコ栽培のものじゃなければ売れなくなってしまうね。」と話しています。



※ぼかし
米ぬかや油かす、鶏ふん等を混ぜて発酵させた肥料

こんなこともやってます

「確かめよう! 食の安全」講演会参加者募集

テーマ 「農業と食生活について」
講師 (財) 雑質技術研究所 食品化学部長 佐藤元昭氏
日時 1月20日(火) 13:30~15:30
場所 アパローム紀の国(和歌山市)
定員 160人(当日、会場で受付)
※保育ルームあり(事前申込必要、対象は1歳~小学2年生)
問合せ 県庁県民生活課 ☎073-441-2345



食品検査

食品衛生法に基づき、食品衛生監視員が必要に応じて小売店等から取来または買い上げ、県環境衛生研究センターにおいて、残留農薬や食品添加物、残留抗生物質、食中毒菌等の検査・分析を行っています。基準を超えるものや混入してはならないものが検出された場合は、その事実を公表するとともに、食品の回収・破棄を命じることができます。今後さらに、この監視・検査体制を強化することとしています。

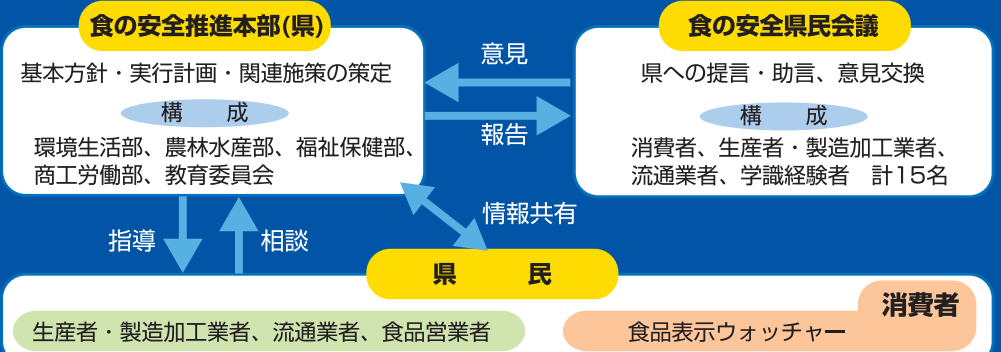


「確かめよう! 食の安全」バスツアー

県内の生産者や流通関係者等が食の安全や表示に関してどのような取り組みをしているのか、現地で見えて、聞いて理解と知識を深めていただくため実施しています(今年度分は申込を締め切りました)。

和歌山県 食の安全推進体制

行政、関係業者、県民の皆さんが一体となって、食品の安全確保による県民の健康危害回避と、県産品の安全確保による消費者の信頼獲得をめざします。



問い合わせ

食の安全推進本部事務局
(県庁食品安全企画課)
☎073-441-2634

食の安全・安心 プロジェクト実施中!



近年、O-157(腸管出血性大腸菌)による集団食中毒や大手乳業メーカーの大規模食中毒、BSE(牛海綿状脳症)の発生、食品の偽装表示、無登録農薬の使用など、食品にかかわる事件・事象が相次いで起こり、それに伴って「食」に対する消費者の不安と関心が高まっています。

そうした中、県では昨年4月に「食の安全局」という部署を新たに設置し、生産者や製造・加工業者、流通業者、及び消費者の協力を得ながら食品の安全確保に取り組むとともに、食の安全に関してできる限りの情報提供に努めています。

トレーサビリティ制度

トレーサビリティは、英語のトレース(追跡)とアビリティ(可能性)の合成語で、「生産、処理・加工、流通・販売」の各段階で、「いつ、どこで、だれが、どのように」といった食品についての情報を追跡し、さかのぼって特定できるという意味です。

県では、食の安全と消費者の安心を確保するため、このトレーサビリティ制度を早急に整えられるよう、農業協同組合をはじめ関係団体等との協議を具体的に進めています。

法制化で先行スタート 牛トレーサビリティ制度

牛肉の安全性に対する信頼確保やBSE*のまん延防止措置の的確な実施を目的として、「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」が平成15年12月1日に一部施行されました。

※BSE 牛海綿状脳症という牛の病気で、ウイルスより小さい感染因子である「異常プリオン」を含む飼料などを食べることによって感染します。接触や空気を介してうつることはなく、通常2~5年の潜伏期間を経て発病します。



制度の概要

耳標装着

国内で生まれたすべての牛と輸入牛に、10桁の個体識別番号が印字された耳標が装着されます

牛個体情報のデータベース化*

個体識別番号によって、その牛の性別や種別(黒毛和種など)に加え、出生から食肉にするためのと畜・解体処理までの飼養地などが記録されます

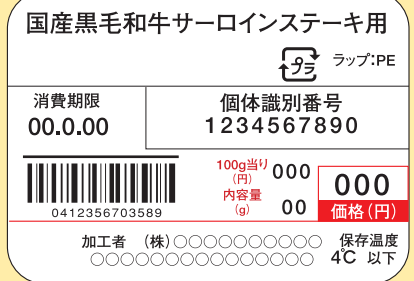
法施行
平成15年12月1日

※データベース化 情報を取り出しやすいように整理して蓄積すること

番号の表示と記録

法施行
平成16年12月1日

枝肉、部分肉、精肉と加工され流通していく過程で、その取引に関わる販売業者等により、個体識別番号が表示・伝達され、仕入れの相手先などが帳簿に記録・保存されます



インターネットで生産履歴を公開

消費者は、個体識別番号により、インターネットを通じて出生以来の生産流通履歴を調べることができるようになります

牛個体情報の例	個体識別番号	生年月日	性別	種別	母牛の個体識別番号
	1234567890	H12.05.21	オス	ホルスタイン種	0000654321

	飼養地	異動内容	異動年月日	住所	氏名・名称
1	岩手県	出生	H12.05.21	盛岡市	家畜改良センター岩手牧場
2	岩手県	転出	H12.05.29	盛岡市	家畜改良センター岩手牧場
3	福島県	転入	H12.05.29	※	※
4	福島県	転出	H15.08.08	※	※
5	東京都	転入	H15.08.08	港区	東京都立芝浦と場
6	東京都	と畜	H15.08.09	港区	東京都立芝浦と場

※住所、氏名・名称は、施設等の同意がある場合のみ公開します

食品表示

食品の表示は、消費者が食品を購入するとき、食品の内容を正しく理解し、選択したり、適正に使用したりするうえで重要な情報源となっています。

このため、食品の表示は、JAS法、食品衛生法、健康増進法等により細かく規制されており、これらに違反すると厳しい行政処分や罰則を受けることになります。

表示対象食品	表示の目的	表示しなければならない事項
すべての生鮮食品、加工食品、玄米・精米【JAS法】	○消費者の商品選択に資するための表示	●名称、原産地(輸入品の場合は原産国)名、原材料名、食品添加物、保存方法、内容量、消費期限または賞味期限*1、製造者または販売者(輸入品にあつては輸入業者)の氏名または名称及び住所、その他必要な表示事項 ●遺伝子組換え食品*2、有機食品に関する事項 ●その他食品分類毎に品質表示基準が定められている場合は、その事項
容器入りや包装された加工食品(一部生鮮食品を含む)、鶏卵【食品衛生法】	○品質に関する適正な表示 ○衛生上の危害発生防止	●名称、使用添加物、保存方法、消費期限または賞味期限*1、製造者氏名、製造所所在地等 ●アレルギー食品*3、遺伝子組換え食品*2、保健機能食品に関する事項
加工食品で、栄養表示する場合【健康増進法】	○健康及び体力の維持向上 ○効果についての虚偽誇大広告等の禁止	●栄養成分、熱量等

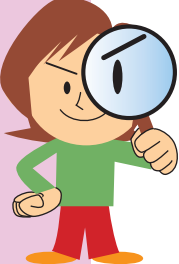
*1 消費期限または賞味期限
弁当や惣菜など品質の劣化が早い(製造後おおむね5日以内)食品には「消費期限」、缶詰やスナック菓子など比較的長く品質保持される食品には「賞味期限」と表示されます

*2 遺伝子組換え食品
大豆、トウモロコシ、ばいれい、ナタネ、綿実の5種類の農産物、及び大豆、トウモロコシ、ばいれい、を原料にした加工食品(30品目)で遺伝子組み換え食品である場合には、その旨の表示義務があります

*3 アレルギー食品
卵、小麦、そば、落花生、乳の5品目を含む食品には、それが原材料に含まれることの表示義務があります(ほかにも表示を奨励する物質が19品目あり)

和歌山県 食品表示 ウォッチャー

平成15年度に新たに設けた制度で、県内各地で計40人の方々に依頼し、最初に食品表示に関する研修を受けていただきました。ウォッチャーの皆さんには、買い物等の日常生活を通じて、定められた項目の表示がないなど不適正な表示があった場合は県に報告してもらいます。



時…期日・時間
場…場所・会場
定…定員
対…対象・資格
※の機関・施設は県庁の敷地内にはありませんのでご注意ください

費…費用
申…申込・応募方法
問…問い合わせ
抽…希望者多数の場合抽選

和歌山県のホームページは <http://www.pref.wakayama.lg.jp/>
県庁・県教育委員会への
郵便は 〒640-8585 (県庁専用郵便番号、住所記入不要) ○○○課あて
電話は ☎073-432-4111



各振興局代表電話 海草 県庁代表と同じ 那賀 0736-63-0100 伊都 0736-34-1700 有田 0737-63-4111 日高 0738-22-3111 西牟婁 0739-22-1200 東牟婁 0735-22-8551



こころの健康講座

演題 「笑いとこころの健康」
講師 昇 幹夫氏
(元気で長生き研究所長)
時 1月19日(月)18:30～20:30
場 和歌山ビッグ愛(和歌山市)
定 80人 (先着順)
申・問 電話、FAXで住所、氏名、
電話番号を、1月15日までに※県
精神保健福祉センター☎073-
435-5194 FAX073-435-5193

応急危険度判定講習会

余震等での被災拡大防止のため、
被災した建築物・宅地の応急危
険度を判定する技術者を養成
①被災建築物
時・場・定 2月3日(火)・9日(月)＝県
民文化会館(和歌山市)、2月16日
(月)＝シティプラザホテル(田辺市)
のいずれか1日 ※いずれも13:00～
17:00 各100人
対 県内に在住、在勤の建築士等

②被災宅地

時・場・定 2月12日(木)＝県民文化会
館(和歌山市) 13:20～16:30 30人
対 県内に在住、在勤で宅地判定
士の登録を希望し、実務経験を
有する地方公務員や設計者等
(以下①、②共通)
申込書配布 1月7～23日に県庁
都市政策課、各振興局建設部(海
草を除く)
申 所定の申込書に関係書類を添
えて1月23日までに県庁都市政
策課へ持参又は郵送
問 申込先

魚の骨格標本を作ろう

時 2月11日(祝) 9:30～16:30
場 自然博物館
対 中学生～一般 20人 抽
費 入館料+300円(材料費等)
申 往復ハガキで住所、氏名、年齢、
電話番号を、1月28日までに会
場「魚の骨格標本を作ろう」係
〒642-0001海南市船尾370-1
問 会場☎073-483-1777

子ども読書活動推進計画(案) に対する意見

閲覧場所 県教育委員会生涯学習
課、各地方教育事務所、県立図
書館本館・紀南分館、県教育委員
会ホームページ
申 郵便、FAX、Eメールで住所、
氏名、年齢、電話番号を、1月6～
31日に県教育委員会生涯学習課
FAX073-441-3724 Eメール
e5006001@pref.wakayama.lg.jp
問 申込先

県子ども・障害者相談センター (肢体不自由者更生施設)入所・ 通所者

対 市町村から身体障害者施設訓
練等に係る施設受給者証の交付
を受けている15歳以上の肢体不
自由の方で、日常生活が一人で
でき、以下の訓練を希望する方
科目 ワープロ・パソコン科(初級
～検定3級程度)、自動車運転科
定 入所30人、通所14人
申・問 ※センター☎073-445-7314

農林水産省 食料品消費モニター

対 和歌山市及びその周辺市在住
の方 20人(選考)
任期 平成17年3月31日まで
申 ハガキ、FAX、Eメールで住
所、氏名、年齢、性別、電話番号、
職業、家族構成(続柄・職業・年齢)
を、2月26日までに近畿農政局
消費生活課 〒602-8054京都市
上京区西洞院通下長者町下ル丁
子風呂町 FAX075-417-2149
Eメール monitor_shousei@kinki.
maff.go.jp
問 申込先☎075-451-9161

公正取引委員会 消費者モニター

対 県内在住の20歳以上の方
13人(選考)
任期 平成17年3月31日まで
申 ハガキで、住所、氏名、年齢、
性別、電話番号、職業、各種モ
ニター経験の有無、家族構成(続
柄・職業・年齢)、最寄りの鉄道駅
と自宅からの所要時間、応募理
由(150～200字程度)を2月6日ま
でに〒540-0008(住所記載不要)

大阪合同庁舎第4号館 公正取引
委員会近畿中国四国事務所
問 申込先☎06-6941-2175

宅地分譲

※追加分譲は1月12日から(予定)
①岩出紀泉台(岩出町)
分譲中15区画、追加分譲6区画
②貴志川長山団地(貴志川町)
分譲中3区画、追加分譲2区画
③新宮蜂伏団地(新宮市)
分譲中62区画
申・問 ①②は※県土地開発公社
☎073-448-1832、③は同新宮
駐在☎0735-31-5460
http://business3.plala.or.jp/ldpc_wp/

特定公共賃貸住宅入居者

和歌山市内の4団地で募集。対象
は中堅所得者。資格を満たせば
一定期間家賃を減額補助
申 ※県住宅供給公社
☎073-425-6885
問 申込先、県庁住宅環境課



就職活動パワーアップセミナー

民間就職支援会社の相談員によ
る模擬テストや模擬面接を実施
※個別カウンセリングを希望者
に翌日、同会場で実施
時・場 ①1月24日(土) 和歌山ビッ
グ愛(和歌山市) ②1月30日(金)
西牟婁振興局(田辺市)
※いずれも13:00～17:10
問 県庁雇用推進室

児童扶養手当

離婚や父の死亡などで父と生計
を同じくしていない児童、父が
一定の障害の状態にある児童に
ついて支給されます
※母又は同居人の所得制限有り
問 各市町村役場、各振興局健康
福祉部、県庁子育て推進課

福祉の就職フェアわかやま

福祉関係事業所との面談、資格
取得等相談、求職者登録
時・場
①1月22日(木)13:00～16:00
ホテルグランヴィア和歌山
(和歌山市)
②1月31日(土)13:30～15:30
田辺市民総合センター
問 ①は※県社会福祉協議会
☎073-435-5211 ②は田辺市社
会福祉協議会 ☎0739-26-4918

法務局くらしの相談

登記・戸籍・供託・人権擁護等
時 2月1日(日)10:00～16:00
(当日15:00まで受付)
場 和歌山市、御坊市、田辺市、
新宮市、高野口町内の5会場
(詳細は問合先まで)
問 ※和歌山地方法務局総務課
☎073-422-5131

農業共済事業

米や果樹、家畜、園芸施設、農
機具を対象に、風水害、寒害等
の自然災害や火災、病虫害等
による損失を補償
問 和歌山北部農業共済組合
☎0736-73-6724、和歌山中部農
業共済組合☎0737-63-5121、和
歌山南部農業共済組合☎0739-
22-0704、県庁経営支援課

恩給欠格者などの方へ書状贈呈

対 ●旧軍人軍属で恩給などを受け
ていない、いわゆる恩給欠格者
の方(請求を行うことなく亡くなら
れた恩給欠格者の遺族を含む)
●終戦に伴い本邦以外の地域から
引き揚げてこられた方
問 ※平和祈念事業特別基金
☎0120-234-933
<http://www.heiwa.or.jp/>



県育休任期付職員採用

育児休業取得中職員の代替職員
を募集。任用期間は職員の育児
休業期間(おおむね8カ月以上3年
未満)が限度となります
時 1月31日(土)
場 県立医科大学看護短期大学部(和
歌山市)、西牟婁振興局(田辺市)
試験区分・採用予定人数
①一般事務(和歌山) 2人程度
②一般事務(西牟婁)③農業(和歌山)
④農業(紀北)⑤林業(西牟婁)
⑥学校事務(和歌山)⑦学校事務
(東牟婁)⑧社会福祉(心理判定員)
⑨看護師 ②～⑨ 各1人程度
⑩獣医師 2人程度
※勤務場所は①③⑥⑧⑨が和歌山
市又はその周辺、④が那賀郡又は
その周辺、②⑤⑩が田辺市又はそ
の周辺、⑦が東牟婁郡内
対 昭和22年4月2日から昭和61
年4月1日までに生まれた方(た
だし⑧は昭和57年4月1日までに生
まれた方)
※⑧～⑩は必要な資格免許所持者
願書配布 県人事委員会事務局、
県パスポートセンター、各振興
局県民行政部総務課、海草振興
局建設部海南工事事務所、東牟
婁振興局申本建設部総務管理課
申 1月7～19日に県人事委員会事
務局(郵送可)
問 申込先☎073-441-3763

県立高等技術専門校入学

時 2月3日(火)
場 各高等技術専門校
対 中学・高校卒業(見込)者、又
は同等の学力を有すると認めら
れる方で、30歳以下の方(以下、
中卒または高卒という)。ただし、
新宮校は年齢不問
学校別科目・募集人数
●和歌山高等技術専門校
☎073-477-1253
中卒＝デザイン木工科15人
高卒＝理容科20人、機械電子工
学科若干名、建築工学科8人
●田辺高等技術専門校 ☎0739-
22-2259 中卒＝塑性工芸科15人
高卒＝OA経理科5人
●新宮高等技術専門校 ☎0735-
31-7329 中卒＝建築科18人
高卒＝溶接技術科15人
願書配布 各高等技術専門校、最
寄りのハローワーク
申 1月16～27日に、15年度卒業
見込者は学校を経由して希望の
各校、その他の方は最寄りのハ
ローワーク
問 各会場

測量士・測量士補

時 5月23日(日)
場 大阪府ほか全国14都道府県
願書配布 1月15日から県庁技術
調査課、各振興局建設部
申 1月15日～2月27日に国土地
理院
問 願書配布場所

県男女共生社会推進センター

りいぶる

りいぶるリフレッシュ講座
「ストレス解消法と健康管理」

平井邦子氏(Pickスポーツグループ インストラクター)

時・場 2月3日(火)＝高野町中央公民館
2月14日(土)＝田辺市民総合センター
2月28日(土)＝打田町保健福祉センター
※いずれも13:30～15:00
定 各30人(先着順)
申 電話、FAX、Eメールで住所、氏名、年齢、電話番
号を各開催日1週間前までにりいぶる
※一時保育は各開催日の10日前までに申込

特別相談
「不登校の子をもつ母の気持ちを語る会」
時 1月17・31日、2月7・21日、3月6日(各土曜)の
5回連続 いずれも14:00～16:00
場 りいぶる
対 不登校の子を持つ母親
定 20人
申 専用電話☎073-435-5246でりいぶる

問 県男女共生社会推進センターりいぶる
〒640-8319和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛9階
☎073-435-5245 FAX073-435-5247
Eメール e0315012@pref.wakayama.lg.jp

1月	1 木	2 金	3 土	4 日	5 月	6 火	7 水	8 木	9 金	10 土	11 日	12 月	13 火	14 水	15 木	16 金	17 土	18 日	19 月	20 火	21 水	22 木	23 金	24 土	25 日	26 月	27 火	28 水	29 木	30 金	31 土
2月	1 日	2 月	3 火	4 水	5 木	6 金	7 土	8 日	9 月	10 火	11 水	12 木	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火	18 水	19 木	20 金	21 土	22 日	23 月	24 火	25 水	26 木	27 金	28 土	29 日		

した。感想を述べた。いっただい。ていっただい。んだん広がつ。た。今後、ど。えて始めまし。境のことを考。して、地球環。県職員が率先



県では11月から3月までの毎月第2水曜日、本庁に自動車やバイクで通勤している県職員を対象に、環境への配慮と、公共交通機関の利用促進や交通渋滞の緩和等をめざす「ノーマイカーデー運動」を始めました。初日の11月12日には、木村知事も自転車で登庁し、「運動不足の解消になるし、それになによりすがすがしい気分になるね。」まず随分より始めよで、



ノーマイカーデーに木村知事も自転車で登庁

不動産公売のお知らせ

下記4筆の土地(いずれも宅地)の公売をします。原則どなたでも入札参加できます。

時 2月10日(火)

場 県民文化会館(和歌山市)

公売財産	所在地	公簿面積
1	岩出町新田広芝88-20	152.18m ²
2	岩出町新田広芝88-25	100.00m ²
3	岩出町新田広芝88-28	102.60m ²
4	岩出町新田広芝152-5	123.05m ²

※物件の詳細、入札参加手続きを記載した冊子を配布しています。

問 海草振興局税務部 ☎073-441-3407

愛の献血にご協力を!

1月、2月は献血が少なくなります。

みなさんの愛の献血をお待ちしています。

献血実施場所

和歌山駅前献血ルーム

☎073-427-2770

成分献血 受付

10:00~12:00、14:00~17:00

全血献血 受付

10:00~13:00、14:00~17:45

(ただし、1月1・2日はお休み)
※移動採血バスによる献血場所は、県ホームページ、新聞等でも案内しています

問 県庁薬務課、赤十字血液センター
☎073-455-6613



ふるさと名人「紀の人」賞

新しい時代のふるさとづくりを進めるため、地域の特色を生かし、さまざまな分野で頑張っている方々を「ふるさと名人」として表彰し、「紀の人」賞を贈呈しました。(敬称略)

安達 茂文	(龍神村)	刀匠
井上 健	(粉河町)	粉河うちわづくり
岩崎 伸一	(田辺市)	鍛冶職人
大面 操	(南部川村)	梅人形づくり
小川郷土芸能保存会	(野上町)	地域づくり
北山 武彦	(白浜町)	切り絵づくり
坪井 徳夫	(花園村)	高野帚づくり
安井 理夫	(本宮町)	語り部
藪田 善助	(吉備町)	打上花火づくり
藪田 さゆり		

平成15年12月4日 県庁において表彰式を行いました
問 県庁秘書課

2月7日は「北方領土の日」

第23回 北方領土返還要求和歌山県民大会

時 2月3日(火)13:30~15:30

場 海南市保健福祉センター

内容 中学生北方領土現地研修報告、基調講演等

問 県庁広報室

融資など

自立支援教育訓練給付

母子家庭の母が就職に必要な資格を取得するための各種講座受講費用(事前相談必要)

対 次の全ての要件を満たす方(各市在住の方を除く)

①児童扶養手当受給者又は同様の所得水準にある方

②受講開始日に雇用保険対象者でない方

③適職へ就くために必要な資格を取得しようとする方

助成率 受講費用の4割(上限20万円)

申・問 各振興局健康推進課

試作品作成等補助

対象経費 県内の中小企業者等が自ら行う試作品の作成等に要する経費

補助率 対象経費の3分の2以内

補助限度額 500万円以内

申 所定の申請書等を2月13日までに県庁新産業室へ持参又は郵送
問 申込先

高等技能訓練促進費給付

母子家庭の母が就職に有利な資格を取得するため養成機関に通う場合の一定額(事前相談必要)

対象資格 看護師、介護福祉士、保育士、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士

対 次の全ての要件を満たす方(各市在住の方を除く)

①児童扶養手当受給者又は同様の所得水準にある方

②修業年限2年以上の養成機関に修業中で資格取得が見込まれる方

③仕事又は育児と修業の両立が困難である方

支給期間 修業期間の最後の3分の1(上限12カ月)

支給額 月額10万3千円以内

申・問 各振興局健康推進課

若年者就職支援センター

(ジョブカフェわかやま)が就職活動をサポート!

専門の相談員が求職活動の具体的な方法や、履歴書・職務経歴書の作成の仕方や使い方を説明します。また、コンピュータを利用した適職診断をはじめ、面接トレーニングも実施します。

対 概ね35歳未満の求職活動中の方

時 月~金曜日9:00~17:00

(祝日、年末年始を除く)

※予約制を原則としています。

場 和歌山市美園町5-6-12 (美園商店街内)

問 センター☎073-402-5757



出前相談を1月から希望に応じて田辺市内で実施予定



平成15年度 人権の詩 知事賞(最優秀賞)受賞作

小学生以下の部

松本紳吾さん(上富田町)

ぼくの心

びょう気でこまっている子どもがいた。
おもいびょう気が、その子をいじめた。
ぼくは、たすけたいとおもって、ぼくのおこづかいをとどけた。
その子は太ようの下で一どもぼくみたいにあそんだことがないんだって。
外こくでしゅじゅつをするために、ひこうきにのった。
でも、びょう気がその子のいのちをうばった。
ぼくは、心の中でくやしかった。
そのあと、その子のおとうさんからとどいた手紙を
ぼくはたからばこにいった。

中学生の部

阿波 望さん(上富田町)

産まれてきたから

妹が産まれたとき
私はうれしかった
妹が産まれたとき
みんながうれしかった
妹が産まれたとき
命が
どれだけ人を幸せにするか分かった
妹が産まれてきたから
命の大切さに気づいた



「ふれあい人権フェスタ2003」での表彰式に出席した
上田誠人さん(左)と松本紳吾さん(右)

一般の部

上田誠人さん(和歌山市)

じいちゃん、やめてくれ

じいちゃんのおむつをかえた
じいちゃんが俺に手を合わせて
涙をこぼして
「ありがとう」って言った
やめてくれ、じいちゃん!
赤ん坊のころの俺のおむつ
じいちゃんがかえてくれたのに
俺、その時も
今日までたったの一度だって
じいちゃんに
「ありがとう」言っていないのに
やめてくれよ、じいちゃん
笑って俺に恩返しさせてくれよ

催し

県立近代美術館 ☎073-436-8690
休館／月曜、年末年始、2/9～16

■コレクション全館展示『美術百科「7つの鍵」の巻』
～4月4日(日)

県立博物館 ☎073-436-8670
休館／月曜、年末年始

■コーナー展「むかしの絵はかき(紀北編)」
～喜多村進コレクション～ ～1月18日(日)

■コーナー展「新収蔵品展」 1月24日(土)～3月7日(日)

紀伊風土記の丘 ☎073-471-6123
休館／月曜、年末年始

■企画展「昔のくらし」 ～3月21日(日)

■体験教室「かすら籠を編んでみよう」
2月11日(祝)13:00～15:00

定 30人 抽 費 170円(入館料)※1/15～2/1に申込

植物公園緑花センター ☎0736-62-4029
休園／火曜、年末、1/21～23

正月(1/1～4)開園！

■誰にでも出来るバラづくり※ 1月18日(日)

■ボタニカルアート(植物の精密画)の描き方※
植物のスケッチ=1月25日(日)

■早春の盆栽展2/6～8、早春の洋ラン展2/6～8、
ボタニカルアート教室作品展2/7～22

※は事前申込必要

県動物愛護センター ☎073-489-6500
休館／火曜、年末年始

■いぬ・ねこ譲渡講習会
1月14日(水)・25日(日)、2月12日(木) 14:00～

※申込不要、講習を受けなければ譲渡できません

県公館 一般開放 ☎073-441-2214
問 県庁管財課

時 1月25日(日)、2月8日(日) いずれも10:00～16:00

※駐車場はありません

お気軽にどうぞ

交通事故相談 ☎073-441-2359

【常設相談】月～金曜日 場所／県庁交通事故相談所、東牟婁振興局(水曜日を除く☎0735-22-8551)

【弁護士による相談】電話予約必要 ●県庁交通事故相談所
1月19日(月)、2月5日(木) 受付／13:00～14:00

●東牟婁振興局 1月23日(金)、2月6日(金) 受付／正午まで

【巡回相談】伊都振興局1月28日(水) 受付／11:00～15:00

県民相談 ☎073-441-2356

【常設相談】月～金曜日 場所／県庁県民相談室

【弁護士による相談】県庁県民相談室 ※先着各20人
●2月3日(火)<☎予約1/26～> ●2月13日(金)<☎予約2/4～>

【移動相談】●2月5日(木) 桃山町・桃山会館<☎予約1/22～那賀振興局0736-61-0005> ●2月17日(火) 御坊市・財部会館<☎予約2/3～日高振興局0738-24-2904>

●2月26日(木) 古座町・町民文化センター<☎予約2/12～東牟婁振興局0735-21-9605>

※各先着10人(予約開始日に注意)

高齢者相談 ☎073-435-5212

【常設相談】月～金曜日

【専門相談】※日時はお問い合わせください

【弁護士による相談】1月16日(金)(電話予約必要)
場所／県高齢者総合相談センター(和歌山ビッグ愛7階)

医療安全相談 ☎073-441-2611

【常設相談】月～金曜日 場所／県庁医務課
※各県立保健所(支所)総務課でも実施しています

【弁護士相談】1月16日(金)・29日(木) 13:00～17:00
場所／県庁医務課 ※事前予約必要

県税の休日・夜間納税窓口

県税の納税や納税に関する相談にぜひご利用ください
場所／各振興局税務課(海草は税務部)

【休日納税窓口】1月25日(日) 9:00～17:00

【夜間納税窓口】1月22日(木) 20:00まで



田辺市 串本町 古座町

今回のように漁船を使つての訓練は初めてのことで、防災無線と漁業無線の連絡体制のチェックや、取締船で搬送中の医薬品をヘリコプターでつり上げて緊急輸送する訓練も実施されました。

11月20日、東南海・南海地震に備えた緊急物資輸送訓練が、県や田辺海上保安部、串本と古座の両町・漁協などが参加し、実施されました。これは、紀伊半島沖を震源とする地震による津波で県南部の道路が寸断され、孤立した漁村から食料・飲料水・医薬品等輸送の要請を受けたという想定で行われたもので、陸上の代替ルート確保の観点から海上を使つた訓練となりました。緊急物資は県の西牟婁振興局から文里港を経由し巡視船や取締船で串本漁港へ、さらに小型漁船に積み替えられて目的地直近の漁港に陸揚げされ、出発地から約70キロ先の被災地に届けられました。

漁船で緊急物資の輸送を訓練！

IHS構想地域へ相次ぎ企業進出！

県と田辺市・白浜町が恵まれた立地環境を生かして情報通信関連産業の集積をめざすIHS構想。10月に株式会社キャパ(東京都台東区)が田辺市への進出協定を結んだのに続いて、11月には、株式会社ウェブスターパブリッシャーズ(東京都渋谷区)が田辺市への(写真上)、株式会社ギガプライズ(東京都中央区)が白浜町への(写真下)進出協定を、それぞれ県と地元市町との三者で締結しました。さらに有限会社アクリート(栃木県宇都宮市)も同地域への進出を決定しています。

ウェブスターパブリッシャーズは早速12月から操業を開始し、ギガプライズは、白浜町が遊休保養所を改修整備した町営賃貸オフィスへの入居第1号として、この1月から操業を開始します。



田辺市 白浜町

青少年の家



北 こおどフェスタ in 紀北
千人鍋のふるまい、マグロの解体・即売、地域物産販売、もちつき・ピザづくり・クラフト等体験、地元和太鼓グループ等のステージ発表など
時 2月8日(日) 10:00～16:00 (雨天決行)
※気軽にぞ来場ください

北 ドドンといこう和太鼓
基本練習からステージ発表まで
時 2月7～8日(1泊2日)
対 小学5年生～一般 25人 抽
申 1月24日までに会場

白 水仙観賞と世界に一つのマイカップ(マグカップの絵付け)
時 2月7日(土)13:00～16:00
対 小学4年～中学生とその家族
定 絵付け50人(先着順)
申 事前に電話で会場
※水仙観賞は一般開放(1月下旬～3月上旬の9:00～16:00、月曜休所)

白 ヒカルの碁！パート2
対局を通じて囲碁に親しむ
時 2月14～15日(1泊2日)
対 小学3年～一般 40人 抽
申 1月27日までに会場

潮 5人6脚レース
??競走(内容は初日夜発表)
時 2月14～15日(1泊2日)
対 小学5年～中学生5人のグループ 10グループ 抽
申 2月1日までに会場

北 クレイアート(紙粘土クラフト)にCHALLENGE
自分で作る素敵なアート
時 2月21～22日(1泊2日)
対 小学4年～中学生 40人 抽
申 2月6日までに会場

北 小学生だって！卒業旅行
自分たちで選んだポイントを通して青少年の家をめざす
時 3月6～7日(1泊2日)
対 小学6年生2～5人のグループ 15組 抽
申 2月13日までに会場

潮 トライアルツアー ～12歳の地図～
自分たちで決めた課題を実行しつつ青少年の家をめざす
時 3月13～14日(1泊2日)
対 小学6年生3～5人のグループ 10組 抽
申 2月13日までに会場

ハガキ・FAXで申し込む場合
参加者全員の住所、氏名、年齢(学年)、電話番号、保護者名、講座名を記入してください。(電話での申込も可)
※内容、費用等の詳細は各会場へ問い合わせ

申込・問合先
北 =紀北青少年の家
〒649-7112かつらぎ町中飯降1317-3
☎0736-22-5530
FAX0736-22-5531
白 =白崎青少年の家
〒649-1123由良町大引961-1
☎0738-65-2351
FAX0738-65-2352
潮 =潮岬青少年の家
〒649-3502串本町潮岬669
☎0735-62-6045
FAX0735-62-0182

テレビ・ラジオ新春特別番組

木村知事の新春対談！
「わかやま発！日本の元気」
ゲストに竹中平蔵金融・経済財政政策担当大臣を迎え、和歌山での学校時代のエピソードや東京からみたふるさと和歌山、そしてこれからの和歌山について熱く語りあいます。

テレビ(テレビ和歌山)
1月1日(祝)11:30～12:00
1月4日(日) 9:30～10:00
ラジオ(和歌山放送)
1月1日(祝) 9:15～9:35



特別番組「世界遺産を目指して 高野・熊野夢紀行」放送！

平成16年夏の世界遺産登録を目指す「紀伊山地の霊場と参詣道」の特別番組が放送されます。俳優の榎木孝明さんと女優の小田茜さんが、高野・熊野を訪れ、世界に誇る文化的景観を紹介いたします。ご期待ください!!

1月18日(日) 10:00～10:54 テレビ和歌山

